

令和6年度 久御山町立こども園経営計画及び評価シート

久御山町立 みまきこども園 園長 宮川 野添美

こども園の現状		保育・教育目標	経 営 方 針			
・10名の入園児を迎え、1号認定児5名、2号認定児50名、3号認定児29名の計84名でスタートした。 ・子ども達は人懐っこく、穏やかな性格で、自然豊かな園庭で虫探しや遊具で遊ぶ活発な子が多い。また、何にでも興味を持ち、好奇心旺盛な姿が見られ、その姿を受け止め「もっとやってみたい」という意欲的な心を育てていきたい。 ・協力的な保護者が多い。		健康でたくましく心豊かな子どもに育てる ①仲良く元気に遊ぶ子ども ②素直で思いやりのある子ども ③自分で考え行動しようとする子ども ④自分の思いを豊かに表現しようとする子ども	○家庭や地域と連携を図りながら、一人一人の育ちを丁寧にみつめ、健やかな心と体を育む。 ・乳幼児期にしっかりと愛着形成を育み、大人に見守られた安心感の中で、すすくと成長し伸び伸びと自己発揮する。 ・乳幼児期に相応しい生活や遊びを保障し、園生活の充実を図る。 ・質の高い保育・教育を目指し、資質向上に励む。 ○久御山学園の基本方針に基づき園小連携を密にし、就学前教育を充実させる。			
こども園経営の重点		成 果 と 課 題				
乳児保育	○健康・安全な生活を提供し、情緒の安定を図る。 ・保育者との愛着関係・信頼関係を育み、安心して自己表出できるようにする。 ・家庭と連携を図りながら、規則正しい生活リズムと望ましい生活習慣を育成する。	・横の繋がりを大切に保育を進めることができた。 ・今後、発達について話し合ったり、環境構成について話し合う時間をたくさん作り保育を深めていきたい。				
幼児教育	○就学前教育の充実 ・一人一人が自己発揮し園生活を楽しむ中で、様々な経験を通して「生きる力」の基礎を育む。 ・小学校や地域との連携・交流を図り、子ども達の健やかな成長と学びにつないでいく。 ・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を育む。	・話し合いの時間を工夫して、お互いの保育を伝え合い、行事に向けて取り組むことができた。動画、テトル配信など慣れないこともあったが、時間の工夫をしながら毎日配信をすることができた。 ・環境構成に戸惑うことが多かった。子どもの遊びの様子・季節に応じた遊び・異年齢の関わりなど意見を出し合って今後、環境構成に取り組んでいきたい。				
乳児・幼児共通	○0歳児から5歳児までの切れ目のない保育 ・各学年、指導計画に基づいて保育していく中で、縦のつながりを意識しながら0歳児から5歳児まで切れ目のない保育・教育を全職員で共通理解しながら進めていく。	・保育士間のコミュニケーションを大切に、お互いの保育を気にかけてながら日々の保育を進めることができた。 ・園の研究テーマを意識しながら保育を進めていきたい。また、研究保育を通して保育の質を高めていきたい。				
評価領域	重 点 目 標（観点別）		具 体 的 方 策		評 価	
健 康	基本的な生活習慣の形成を図り、健康な心と体の基礎を培う。		・健康な生活を送るために、基本的な生活習慣の大切さを保護者にも啓発していく。 ・子どもが主体的に友達と関わり遊びを発展させることができる環境や、自分達の健康や安全に関心を持ったり関与できるような適切な援助をする。		2	3 3
人間関係	信頼感を育み、自立心と協同性及び道徳性や規範意識の芽生えを培う。		・乳児は、身近な人と過ごす喜びや関わる心地良さを感ぜられるよう援助する。幼児は、自分の力で行動することの充実感・望ましい習慣や態度を身につける。また、協同性、諦めずにやり遂げる粘り強さ、自尊心、気持ちを調整する力を育てる。		2	3 4
環 境	身近な環境に親しみ、豊かな心情や思考力の芽生えを培う。		・保育者自身が感性を豊かにし、子どもが興味や関心を持てるような環境構成を考える。 ・動植物に親しみを持つとともに、いたわりの気持ちや命の大切さに気づけるようにする。		2	3 4
言 葉	自分の思いを話したり聞いたりする態度を培い、言葉で伝え合う楽しさや力を育む。 言葉に対する感覚を豊かにする。		・自分の体験や気持ちを自分なりの言葉で表現できるよう、体験活動を充実する。 ・子どもの興味や好奇心を満たす絵本や物語・言葉遊び等を準備し、言葉に対する感覚を豊かにする。		2	3 4
表 現	豊かな感性や創造性を培い、豊かに表現する力を養う。		・様々な体験を通して子どもの気持ちに共感し寄り添う中で、ごっこ遊びや表現遊び等それぞれのイメージを認め共有し、生活や遊びの中で生かしていく。		2	3 3
年間評価	1 学 期		2 学 期		3 学 期	
	去年の反省を生かして、行事や保育を進めていくことができた。		運動会に向けて、職員が一丸となり取り組むことができた。当日は天候が悪く中であつたが、子ども達の頑張る気持ちが伝わり大きな拍手や感想をいただくことができた。		行事に向けてみんなで話し合い、意見を出し合いながら取り組むことができた。保護者にはテトル配信で子ども達の普段の園の様子を伝えることができた。	